品　名	製造販売業者	承認年月日	規制区分
サーコバック	メリアル・ジャパン株式会社	H20.4.24	指定医薬品、劇薬、要指示医薬品

製剤区分（薬効分類）	生物学的製剤（ワクチン類）
主成分	１用量中　○不活化PK15細胞培養豚サーコウイルス2型1010-25株　2.1 log10 ELISA 単位以上
対象動物	豚
効能及び効果	母豚への投与後、子豚における受動免疫による豚サーコウイルス2型感染に伴うリンパ組織における病変の軽減ならびに豚サーコウイルス2型に起因する斃死率及び臨床徴候の軽減
用法及び用量	液状ワクチン及びアジュバントのバイアルをそれぞれよく混和し、液状ワクチン全量をアジュバントバイアルに注入した後、泡立てない程度にゆっくり10回程度転倒混和し、下記の量を豚の耳根部後方の頸部筋肉内に注射する。産歴のある妊娠豚（淘汰が予定される最終分娩時及びその分娩時の妊娠豚を除く）に1回2mLを3～4週間隔で2回注射する。ただし、2回目の注射は、分娩予定日の2～4週間前に行う。次回以降の繁殖時に行う補強注射は、2mLをその分娩予定日の2～4週間前に1回行う。
使用禁止期間／休薬期間	－

剤型	反芻動物由来物質有無	由来物質名	由来物質動物	由来物質原産国	由来物質臓器名等
(動生剤)液状 不活化	無				

品　名	製造販売業者	承認年月日	規制区分
ヨーネスクリーニング・プルキエ	株式会社　微生物化学研究所	H20.5.21	―

製剤区分（薬効分類）	生物学的製剤（生物学的診断用製剤類）
主成分	［抗原固相化マイクロプレート］ 1プレート中　マイコバクテリウム・アビウム亜種アビウム　18株抽出抗原　参照陽性血清のOD値として0.7～2.0 ［試料希釈吸収液］ 1ボトル(100mL)中　マイコバクテリウム・フレイ　パスツール研究所株抽出抗原　特異性検定用血清のS/P値として50未満 ［ペルオキシダーゼ標識抗体液］ 1バイアル（0.75mL）中ペルオキシダーゼ標識マウス抗牛IgG1抗体　0.75 mL ［発色液］　1ボトル（60mL）中　3，3'，5，5'，-テトラメチルベンジン　適量 ［反応停止液］　1ボトル（120mL）中　0.5mol/L硫酸水溶液　120 mL ［指示陽性血清］　1バイアル（0.5mL）中　マイコバクテリウム・パラツベルクローシス感染牛血清　0.5 mL ［指示陰性血清］　1バイアル（0.5mL）中　マイコバクテリウム・パラツベルクローシス非感染牛血清　0.5 mL
対象動物	牛
効能及び効果	牛血清中のヨーネ菌に対する抗体の予備的検出
用法及び用量	１．洗浄液の調整 濃縮洗浄液を精製水で20倍に希釈して洗浄液を作製する。 ２．被検血清及び指示血清の希釈とマイコバクテリウム・フレイ菌による交差抗体の吸収 被検血清、指示陽性血清及び指示陰性血清を試料希釈吸収液で20倍に希釈する。十分に混和した後に21±5℃で15分間吸収する。 ３．血清の感作 吸収済み血清100μLを抗原固相化マイクロプレートのウェルに加える。指示陽性血清では2ウェル、指示陰性血清及び被検血清ではそれぞれ1ウェルを用いる。静かに振盪後、プレートに蓋をして21±5℃で45分間反応させる。 ４．洗浄 ウェルから血清試料を除去し、ウェルを洗浄液で満たし、除去する。この操作を3回行う。最後の洗浄液はペーパータオル等を用いて可能な限り除去する。 ５．標識抗体の感作 ペルオキシダーゼ標識抗体液を標識抗体希釈液で100倍に希釈し、その100μLを各ウェルに分注し、プレートに蓋をして21±5℃で30分間反応させる。 ６．洗浄 ４．の洗浄操作を行う。最後の洗浄液はペーパータオル等を用いて可能な限り除去する。 ７．発色反応 各ウェルに発色液を100μL加える。マイクロプレートを遮光して、21±5℃で10分間発色させる。各ウェルに100μLの反応停止液を加える。色度が均一になるまでマイクロプレートを静かに振盪し、必要な場合にはプレートの裏底を注意深く拭う。 ８．測定 エライザ用分光光度計により、波長450nmにおけるOD値を測定する。 ９．判定 指示陽性血清の平均OD値が0.7～2.0であり、かつ指示陽性血清と指示陰性血清のOD値の比が7.0以上の場合に試験が成立し、下式によりS/P値を算出する。 S/P値=100×（被検血清のOD値-指示陰性血清のOD値）／（指示陽性血清の平均OD値-指示陰性血清のOD値） S/P値が60未満を陰性、60以上を陽性とする。
使用禁止期間／休薬期間	－

剤型	反芻動物由来物質有無	由来物質名	由来物質動物	由来物質原産国	由来物質臓器名等
（動生剤）その他（診断液を含む）	有	ウシアルブミン	ウシ	アメリカ合衆国	血液